

# 全国の平和のための博物館の現状からみた 飯田市平和祈念館の特色と課題

2023年11月23日

山辺昌彦

## 1. 全国の平和のための博物館の現状

前史 原爆・沖縄戦・空襲など大きな被害を伝える施設 作られる

1955 広島平和記念資料館

1955 長崎国際文化センター

1975 沖縄県立平和祈念資料館

1981 仙台市戦災復興記念館

1981 神戸市戦災記念資料室

1988 浜松復興記念館

1988 大久野島毒ガス資料館

1975年からの地域歴史博物館での戦争関係企画展のはじまり

1985年から89年連続した豊島区立郷土資料館での戦争関係企画展の開催

大阪・京都・東京での市民による平和のための戦争展の影響を受けて

テーマ内容を学ぶ 戦争の悲惨さと平和の大切さを伝える

博物館での戦争展示の開催

研究機関 社会教育機関 資料所蔵機関での開催

地域に根ざして 戦争動員体制と戦争による生活破壊を伝える

町田市立自由民権資料館などでも開催

1990年代はじめ 平和専門の博物館の開館

1991年大阪国際平和センター 開館

1992年立命館大学国際平和ミュージアム開館

総合的全国的な平和博物館の誕生

加害被害の両面

日本の戦争を批判的に

堺市立平和と人権資料館

吹田市平和祈念資料館

川崎市平和館

埼玉県平和資料館

高松市市民文化センター平和記念室

福山市人権平和資料館

なども開設

原爆博物館・沖縄戦の博物館も 総合平和博物館に

1990年2000年ころから 地域歴史博物館で毎年のような平和の趣旨で戦争展示を開催する所も

戦後50年の1995年ごろ博物館の戦争展示 最も充実

平和博物館と地域の歴史博物館

交流

1994 日本平和博物館会議

1998 平和のための博物館・市民ネットワーク

1996年から公立の平和博物館の日本の侵略・加害展示が右派勢力の攻撃を受ける  
抵抗したが次第に後退するところも 大阪・堺・埼玉など  
全体に展示や活動を委縮している 公立の平和のための博物館全体が  
その中でも頑張っているところもある 沖縄・高松・世田谷

その後最近までに設立の公立の平和博物館

1995 青森空襲資料常設展示室  
1996 姫路平和資料館  
1996 碓井平和祈念館  
1998 地球市民かながわプラザ  
2002 岐阜市平和資料室  
2002 西宮市平和資料館  
2003 長岡戦災資料館  
2009 水戸市平和記念館  
2012 滋賀県平和祈念館  
2012 岡山空襲展示室  
2015 熊谷市平和資料展示室  
2015 愛知・名古屋戦争に関する資料館  
2015 世田谷区立平和資料館 改称  
2016 高松市平和記念館 改称  
2018 江戸川区平和祈念展示室  
2018 豊川海軍工廠平和公園・豊川平和交流館  
2018 各務原市空襲資料室  
2020 人権平和センター豊中・平和展示室  
2020 中野区平和記念館展示室 再開  
2021 明石市平和資料室  
2022 北九州平和のまちミュージアム  
2022 飯田市平和祈念館

継続的に企画展を開催

沖縄 埼玉 姫路 広島 福山 長崎 滋賀 愛知

2000年代 民間の平和博物館も本格的に成立

それ以前 静岡 ひめゆり ナガサキなど

高麗博物館 女たちの戦争と平和の資料館 わだつみのこえ記念館  
ピースあいち 山梨平和ミュージアム  
東京大空襲・戦災資料センター

その後

2010年に明治大学平和教育登戸研究所資料館  
2013年に満蒙開拓平和記念館  
2022年にウトロ平和祈念館

戦後70年の2015年が最も多くの博物館で戦争展示開催

2015年大阪国際平和センター リニューアル 加害展示すべて撤去 大阪空襲の博物館  
に

2019年東京大空襲・戦災資料センター リニューアル  
空襲展示 体験記と体験画が主に 被災品の展示 少しに  
2023年立命館大学国際平和ミュージアム リニューアル  
趣旨は変わらない 展示品は大幅に減る

## 2 飯田市平和祈念館の特色

全国的な状況の中で加害展示の努力に頑張っている  
その中でいろいろ制約をされている  
それに対して市民の反対運動がなされる  
市側にも再検討の動きが  
検討委員会が市民代表、研究者も含めて作られる  
一部展示の変更がなされる

## 3.飯田市平和祈念館の課題

市民の要望を全面的に受け入れるように  
旧 731 部隊員の証言の展示の復活など